

2015年5月21日
北川フラム氏 in 大町
記録：鈴木

■源汲焼却施設予定地視察でフラムさんから言われたこと

来る人の環境教育プログラムにアートが関わればいい。

形についていえば、大町の高い空が活かせるようなこと、

たとえば下に鏡を置いて、深い空が映りこむようなことをアートでできたらいい。

森はとてもいいので、そこを散策できる。シュンランなども見て回れるように。

ニューヨークの都市問題のゴミから生まれたアートに、今とても価値がついているので、

アートの持っている発信力、土地のよさ、普遍的な問題性を重ね合わせることで、

焼却施設として、本当に意味のある焼却施設として存在しようと思った。

■市役所議会棟1階委員会室にて、庁内へプレゼンテーション

出席：市長、総務部長、企画財政課長、教育次長、生涯学習課長、文化会館館長、清水

鈴木、佐藤

□パワーポイントを見ながら、事例紹介等

*ちくま新書で6月10日に本が出る。

*妻有の紹介

とどのツマリからきた地名。どんづまりなので、来る人をみな受け入れてきた場所。

山と信濃川しかない場所を日本一の米どころに変えてきた。

ある程度の規模で営農をしている場所の中で、世界で一番雪がふかい。

それが、山から下りろ、農業はやめだ、と言い始めた。

*1996年に妻有に入ったときには、2014年問題（北陸新幹線開通）が言われていた。

が、今年の北陸新幹線開通では、誰もそんなことを言う人はいない。

ここで生きてきた人たちの歴史、自然、文明、を思い切って出していくことをやった。

棚田と瀬替、山を巻いて道路をつくる。

*うぶすなの家

芸術祭の年1400万の売り上げ

それぞれの集落にこだわってやってきた

カバコフ、ポルトンスキー、

あるものを活かし、新しい価値に変える。

空家活用、廃校活用、公共事業の活用

*オイシックス、ヤフー、ソフトバンク、クラウドワークス

40代のIT企業のエースたちが、金儲けだけでなく、地域・農業・文化にオシャレののってきた。

*十日町 3年間で1億円を支出

5億3000万円がパスポート、協賛で賄われてきた。

大地の芸術祭が日本創生のモデル。

人と人とのネットワークが、グローバリゼーションの反対ではないか。

*来訪者と地域の人が関わるのが大切。

彫刻や絵画も美術だが、そこで採れたものをその人が調理して食べる。

僕が考える一番のアートは食。次に生活。技術、土木なども。

50万人100万人の人たちが楽しんで訪れてくれる場所になった

*大町は植生が重なり合っている。日本列島の成立がこの地域でわかる。などのいい条件がある。また、長野の文化事業の目玉に出来る可能性がある。

小さいところから少しずつファンを作ろうということで、昨年試みをやってみた。

この山を巡って盆地を見るというのは、魅力的な見せ方。

*今後は行政とがっちり組んでやっていかなければ難しい。

継続するのであれば、予算、体制を整えてもらうことが必要。

*源汲の方がどうなるかはわからないが、

1億5000万円は芸術祭の予算としてはミニマム。

十日町は3年間で4億3000万円の予算だったが、その後2億増額した。

シードマネーがあれば、補助事業もとれる。

お金がないなら、しっかり知恵と工夫でがんばってやる。

それはそれでいい。

支援ではなく、主体となってやってもらわなければならない。

市が主体となるなかで、求心力をもってもらわないと無理だろう。

ディレクターフィーをつけて、きちんと発注してほしい。

あとはその予算に沿って、作戦を汲みながらやっていけばいい。

*50日間では、始まってから広報するのではもったいない。

広報の体制を整える必要がある。

□プレゼンテーションを受けて意見交換

市長：本番までの間で基金を作っていけたらいいと考えている。

県の支援を引き出せるよう努力する。25年度決算から、剰余金の1%を芸術文化振興基金として積み立てていくこととなり、今年度では4000万円が予算計上されている。本番では1億円くらい出してもらえたら大変ありがたいが、実際のところは5000万程度が精一杯ではないか。

フラム氏：地方創生のテーマで、地域創造の助成等もあるので活用できるのではないか。

総務省でも、地方公共団体所有の遊休施設の活用については補助メニューが出る
地元出身者企業、関係企業の出資の仕方はあるのではないか。

市長：外部との交流。エコ・オーガニックのテーマで言えば、ラインハルト、昭和電工の
黒鉛電極、信越電装などともつながれる可能性がある。

オリンピックにおける芸術文化プログラムの事業費も相当額が出てくる。2020年に2回
目を迎えるのが大きなチャンス。

フラム氏：国もスポーツは東京で、文化は地方でとっている。これはみんな狙っては
いるので倍率は高いが。

□体制について

事務局の建て方が課題となる。

市長をトップに民間で実行委員会をつくるのときは、市内の合意形成がとれるような委
員を委嘱。

地域おこし協力隊も検討する。

以上